

Y14c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状

山村一誠 (ISAS/JAXA)、「あかり」プロジェクト

赤外線天文衛星「あかり」は、2011年11月24日に停波し、軌道運用を終えたが、取得したデータの解析、処理、アーカイブ化の作業は継続して行われている。2012年11月には、大マゼラン雲サーベイの成果として約80万天体を含む測光カタログと、約2000天体を含む近赤外線分光カタログが一般に公開された。また、中間赤外線・遠赤外線の全天イメージマップの初版もまもなく完成し、チームによる検証・評価の後一般公開される。

「あかり」(ASTRO-F)プロジェクトは今年度中に正式に終了し、データアーカイブのための新しいプロジェクトに移行する予定である。新プロジェクトでは大規模サーベイだけでなく指向観測データも含めた観測データのアーカイブ化を引き続き進めていくことにしており、今後も「あかり」に注目をお願いしたい。

ポスターでは、最新の「あかり」プロジェクトの活動を紹介する。